

CSR活動は、経営トータルの質の向上と人材のレベルアップをもたらし、
「事業活動で発生する社会へのマイナス影響を抑制し、社会的変化により
生ずる社会的課題を解決する付加価値製品・サービス・システム
を提供し、持続可能な社会に貢献」することを通じて、企業の魅力を増大さ
せ、企業の安定的な成長をもたらします。

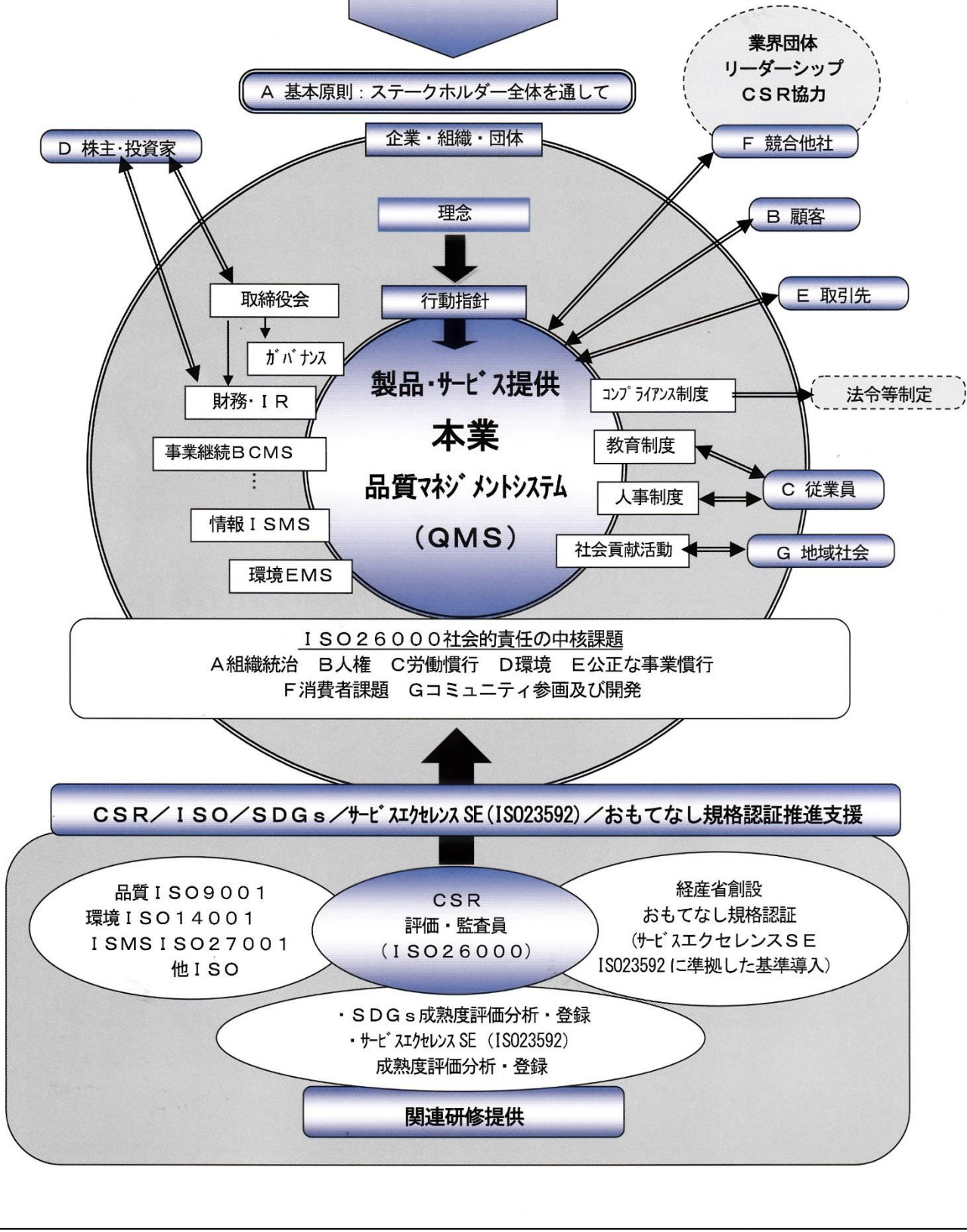
関連活動として持続可能な開発目標「SDGs」や最高のサービスを目指す
「サービスエクセレンスSE:ISO23592」などがあげられます。

CSR : 企業の社会的責任
(SDGs、
サービスエクセレンス SE:ISO23592)
ISO9001QMS 等

トータルマネジメント コンサル

株式会社 イー・キュー・マネジメント技研

【経営トータルの質の向上に向けて】
ステークホルダー（A～F）資本主義に向けて
原点：ISO26000組織の社会的責任

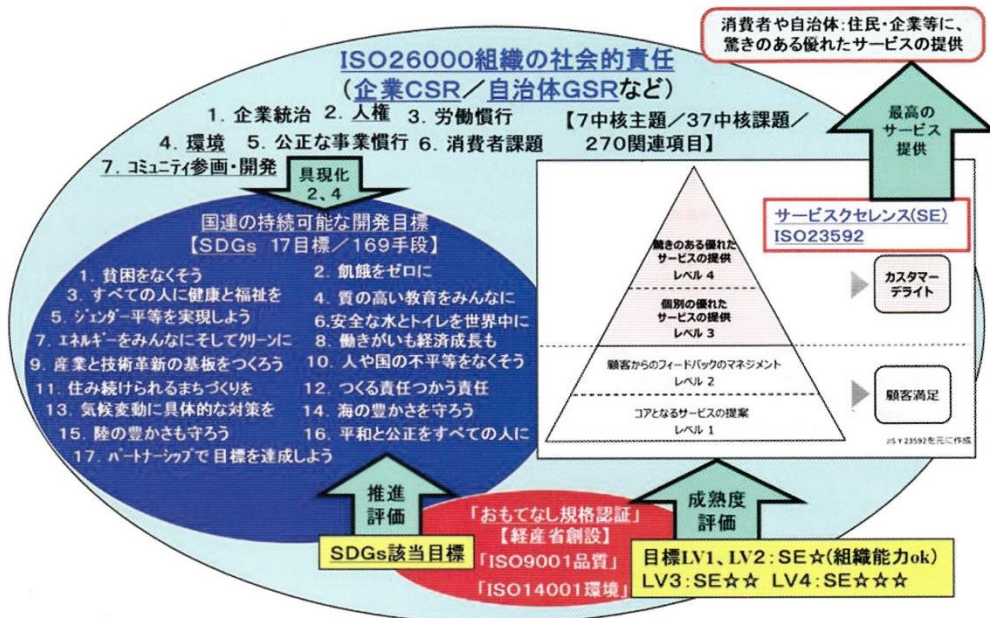


コンサル実行期間・支援工数は、お客様の規模を配慮し調整いたしますので、ご相談ください。

1. CSRコンサルティング事業（ISO26000組織の社会的責任をベースで展開）

（企業CSR、自治体GSR、大学USR、病院HSRなど）

「ISO26000組織の社会的責任/SDGs/サービスケレンスSE（ISO23592）」と
 【おもてなし規格認証(経産省創設)・ISO9001品質・ISO14000環境】関連図



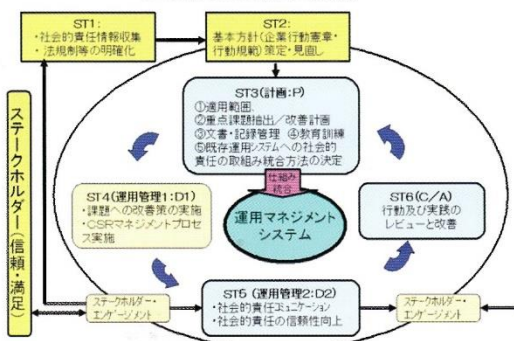
(1) CSRとは

CSRとは、経営トータルの質の向上に向け「事業活動で発生する社会へのマイナス影響を抑制し、社会的変化により生ずる社会的課題を解決する付加価値製品・サービス・システムを提供し、持続可能な社会に貢献すること」です。CSRの中の貧困/環境の具体的な取組の一つが、国連の開発目標「SDGs」です。

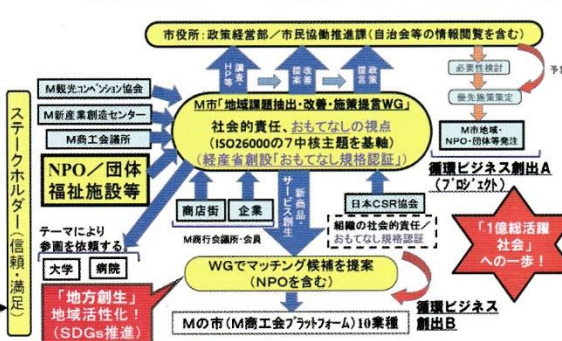
(2) ISO26000:組織の社会的責任 (CSR/GSR) の提供

2010年11月1日発行のISO26000:社会的責任ガイダンス」は、認証を目的としない規格で、あらゆる組織（産業界、自治体、政府機関、NPOなど）に適用されます。この規格を配慮し、業界の特徴を捉えたCSR評価チェックリストを提供します。

ISO26000推進体系



自治体地域のCSR視点の課題抽出・改善体系



(3) 中堅・中小企業向け/自治体向けCSR評価チェックリスト (ISO26000対応) の提供

ISO26000の7つの中核主題/37中核課題より、中堅・中小組織/自治体向けに抽出した適切な課題に対するCSR評価チェックリスト（文書・ひな型類を含む）を提供します。

当社支援により、某業界では、カスタマイズしたCSR推進システム（ISO26000対応）を世界に先駆けて導入しています。

(4) おもてなし規格認証取得支援: 日本CSR協会とのコンソーシアムによりサービスレベル向上を支援します。

2. ISO・CSR (SDGs、サービsexcellence・ISO23592 など) 人材育成事業

(1) 【日本CSR協会 (JCSRA) / EQML主催 各種研修(2023年3月~23年9月)】各種研修スケジュール(事例: EQMLのHPに掲載)・銀座ビジネスセンター内のEQML研修室で開催します。

コース	時間	開催場所	スケジュール: 2023年							
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
おもてなし規格認証	①おもてなし規格認証(経産省創設)~サービsexcellence/ISO23592準拠~を活かす視点コース	4H	東京	3	3	8	5	5	2	4
	②おもてなし規格認証(経産省創設) 内部監査員養成コース	2日	東京			18, 19			17, 18	
SDGs	①SDGs推進・評価コース	4H	東京	6		10		10		8
	②漫才で学ぶSDGsコース	2H	東京	日程はご相談(訪問も可能: 相談ください)						
サービsexcellence/ISO23592	①SE(ISO23592)推進・評価コース	4H	東京		5		9		4	
	②エクセレントサービス設計手法	4H	東京			15			14	
社会課題改善 CSR	①社会課題抽出・改善推進ソーシャルセクター養成コース	6H	東京		14		12		23	
	②CSR内部監査員養成コース	2日	東京	16, 17		22, 23		20, 21		14, 15
	③CSR評価・監査員養成コース	3日	東京		19~ 21				28~ 30	
	④自治体向けCSR導入コース	6H	東京	22			16			22

研修カリキュラムは、EQMLのHPに記載されています。

(2) EQMLのHPには下記の監査員研修も見られます。

コース	時間	開催場所	スケジュール: 2023年							
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
品質	①品質内部監査員養成コース(ISO9001)	1日	東京			29			21	
環境	①環境内部監査員養成コース(ISO14001)	1日	東京	24				19		20
情報セキュリティ	①ISMS内部監査員養成コース(ISO27001)	1日	東京		24			31		
Pマーク	①個人情報保護内部監査員養成コース(JISQ15001)	1日	東京	27				28		25
統合MS	①ISO統合MS内部監査員養成コース	1日	東京	29				26		27

3. 支援内容

【このような内容をご支援します】

- ISO関連コンサルティング: 構築・運用・内部監査
品質ISO, 環境ISO, ISMS, Pマーク, 事業継続BCMS取得等
- CSRコンサルティング (ISO26000対応)
社内、地域課題抽出、改善支援
- おもてなし規格認証 (ISO23592に準拠して基準を導入)
経産省採択・認証機関 (日本CSR協会: 当社G)、支援機関として各種支援
- SDGs、サービsexcellence/SE成熟度評価分析支援
- 人材育成 (少人数でも訪問教育可能) 上表参照
- 自治体向け支援
 - 地域課題抽出・改善・施策、研修など支援
 - 自治体主導商店街おもてなし規格認証導入支援
 - SDGs、サービsexcellence/SE成熟度評価分析支援

実績:

- ISOコンサル:
250社以上
- おもてなし規格認証取得・支援事業者数:
100社 (+180店舗)
- SDG成熟度評価分析、登録証発行数: 8社
- サービsexcellence/SE (ISO23592) 成熟度評価分析・登録証発行数: 5社
- 業種: 製造業、情報通信業、建設業、ホテル、小売りなど多数
- 研修受講者数: 約1000名

世界平和に向け【サービスエクセレンスISO23592を世界に普及】
 (おもてなし規格認証はこのISO規格に準拠した基準を導入)

国内自治体、事業所等の
 活性化にも貢献

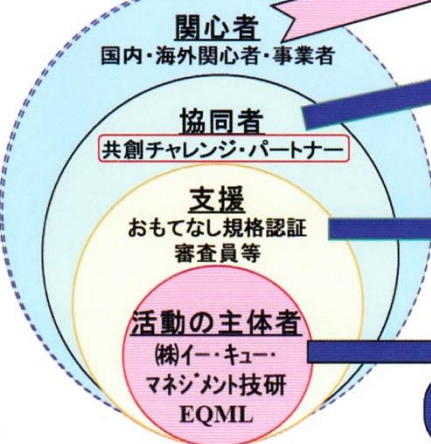
世界平和に貢献

日本文化・風習

おもてなし、お笑い・漫才推進(多言語)
 による世界平和に貢献

大阪・関西万博:TEAM EXPO 2025
 SDGsの共創チャレンジ・パートナー参画
 各国の世界平和貢献者

世界平和パンフレット「ISO9001等推進企業向け:
 サービスエクセレンスISO23592成熟度評価登録
 推進ガイド」和英版を世界に発信
 ISO23592は【世界標準規格(ドイツ、欧州提案)】



共創チャレンジ
 フランボネ マヌー島岡
 (吉本興業所属)
 漫才で学ぼうSDGs
 (多言語漫才)

漫才で学ぼうSDGs
 EQML主催
 (2022.8.16開催)

コラボ

経産省採択
 改定版「おもてなし規格認証(サービスエクセレンス
 ISO23592に準拠した基準導入)」

認証機関:グループ会社(一社)日本CSR協会
 認証支援機関:㈱イー・キュー・マネジメント技研

改定版おもてなし規格認証取得支援企業:40社(+180店舗)
 サービスエクセレンス(SE)ISO23592成熟度評価登録取得支援企業数:5社

自治体の「三方よし」(近江商人の精神)

自治体

【インフラ行動】①景気回復 ②税収増加 ③国の借金の減少
 ④国内の雇用創出 ⑤福祉・厚生充実 ⑥その他

自治体活動・サービスを提供した「住民・企業等から喜ばれ」、問題解決にあたることで
 「社会から喜ばれ」、利益を配分することで「職員に喜ばれる自治体」になりたい!

売り手よし

買い手よし

世間よし

自治体よし

住民・企業等
 よし

ステークホルダー
 (利害関係者)よし

- 【行動】
- ①機能・品質保証
 - ②環境保護
 - ③コストダウン
業務効率化など
 - ④在庫削減
 - ⑤財務体質強化
 - ⑥従業員の満足向上
 - ⑦保守サービス充実
 - ⑧法令等の順守

- 【行動】
- ①消費者(住民・企業等)
の満足
機能・サービス:税金
 - ②レポート部署選択
 - ③ロコミ自治体(他自治
体比較)など
 - ④ブランド環境提供

- 【行動】
- ①地域社会の活性化
企業進出、技術支援、教育支
援などによる地域活性化
(雇用増、健康な社会など)
 - ②行政の税収確保によるインフラ
持続
 - ③NPOへの支援による地域貢献

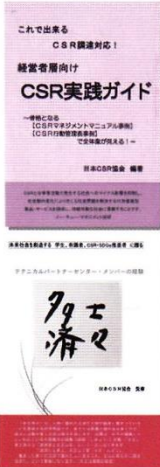
当社の活動紹介

- A 当社のグループ事業者「(一社)日本CSR協会(JCSRA)」の紹介
 - ・経産省採択の「おもてなし規格認証」の審査機関(2017.1月) / CSR全般
 - ・HP : <https://www.jcsra.jp/> 連絡先 : 電話などはEQMLと同じ
- B TPC(テクニカルパートナーセンター)
 - ・幅広い分野の専門家が集まって定例会(1回/月)、日本CSR協会の活動支援、書籍の執筆、コンサルを行っている。2023年8月に200回目のTPC会議となる。(16年経過)
- C【CSR関係の新刊書発行】

書籍申込先 info@eqml.co.jp 又は FAX 042-732-2420
 (一般書店からは、書籍名又は国際番号を添えて申し込んでください)



CSR推進部門向け
 「ISO26000を視んだ社会的責任の現実的な取り組み(見える化!)」
 日本CSR協会 編著
 本体価格:1,800円
 978-4-901710-10-7



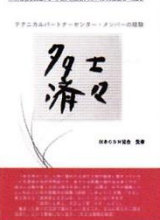
経営者層向け
 「CSR実践ガイド」
 日本CSR協会 編著
 本体価格:900円
 978-4-901710-11-4



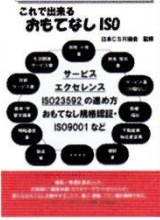
【和英対訳版】
 ISO26000対応
 「サプライチェーンCSR実践ガイド」
 日本CSR協会 編著
 本体価格:3,600円
 978-4-901710-14-5



SDGs推進部門向け
 「これで出来る実践的SDGs統合評価」
 日本CSR協会 編著
 本体価格:1,300円
 978-4-901710-21-3



有識者、CSR推進者向け
 「TPCメンバーの経験」
 「多士済々」
 日本CSR協会 編著
 本体価格:1,800円

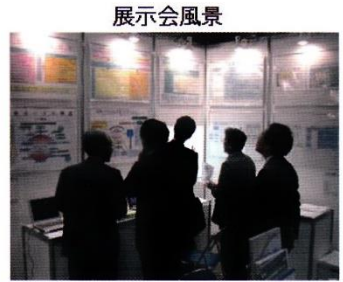


「おもてなし」推進社向け
 「これで出来るおもてなしISO」
 日本CSR協会 編著
 本体価格:1,300円
 978-4-901710-01-5

D 【サービスエクセレンスSE成熟度評価登録証】
 【SDGs成熟度評価登録証】



E 【コンサル・セミナー・研修会・展示会風景】



EQML 株式会社 イー・キュー・マネジメント技研

本社 〒194-0044 東京都町田市成瀬2丁目1番地6
 TEL : 042-732-2280 FAX : 042-732-2420
 E-mail : info@eqml.co.jp URL : <http://www.eqml.co.jp/>
 営業所/研修室 〒104-0061 東京都中央区銀座6-6-1
 銀座風月堂ビル5階 銀座ビジネスセンター内
 TEL : 03-6215-8861 FAX:03-6215-8700